

[議案第70号]

地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

問 法律の改正に伴う条例の整備であるが、本市独自で規定した事項があるか。

答 定年延長により役職定年となる役職の範囲や、降格の際に職務の級をどこに配置するかについては、市が独自で定め運用する事項となる。

[議案第72号] 令和4年度鹿角市一般会計補正予算(第12号)

問 (庁舎管理費) 燃料費の高騰による光熱水費の増加はどの程度上昇すると想定しているか。

答 庁舎の光熱水費のうち、10月までの電気の使用量は昨年度と同程度で推移しているものの、電気料金については、約40%増となっていることから、こうした状況を踏まえつつ、今後の増加を見越して算定している。

問 (ふるさと鹿角応援寄附金) 物価高騰による返礼品等への影響は。

答 物価高騰の影響を含めた返礼品の値上げについては、返礼品提供事業者からの申し出に対し随時対応をしている。

問 (生活保護費負担金返還金) 生活保護費負担金に返還金が生じた理由は。

答 当初、コロナ禍の影響等により被生活保護世帯の増加を見込んでいたが、生活保護の廃止や臨時特別給付金の支給などもあり、被生活保護世帯及び人数の実績が想定の約9割となった。

[議案第56号] 指定管理者の指定について(鹿角市市民センター)

問 地域づくり協議会等の体制と課題等の共有方法は。

答 地域づくり協議会等は、自治会長や小・中学校の校長、市民センターの利用団体などで構成されている。定期的に開催している事務局会議や合同会議において、それぞれの課題などについて情報を共有している。

[議案第57号] 指定管理者の指定について(鹿角市立図書館)

問 指定管理者との意見交換の頻度と市民から図書購入に対する要望があった場合への対応は。

答 毎月開催している定例会において、利用状況や課題等について指定管理者との意見交換を行っている。また、蔵書への要望については、図書購入の際に適宜反映させている。

[議案第58号] 指定管理者の指定について(鹿角市先人顕彰館)

問 教育施設としての利用状況と本施設への来館者数の推移は。

答 市内小・中学校などの校外学習先として受入れ実績がある。来館者数については、ここ数年1,000人台半ばで推移している。

[議案第59号] 指定管理者の指定について(鹿角市大湯温泉保養センター)

問 開館以降の本施設の利用者数の推移は。

答 平成29年の開館時の見込みを大きく上回り、年間6万人台から7万人台で推移している。

[議案第72号] 令和4年度鹿角市一般会計補正予算(第12号)

問 (交通安全対策推進事業) 交通指導員の確保対策は。

答 現在の交通指導員は20名で平均年齢は68歳。75歳で定年により退任となることから、追加募集を継続していく。

問 (個人番号カード交付事務費) 現在のマイナンバーカードの交付枚数率は。

答 令和4年10月末時点から2.9ポイント上昇し、11月末現在の交付枚数率は52.7%。

問 (障害児施設扶助費) 障害児通所サービス利用者の増加理由は。

答 今年度、市内に新規事業所が開設したことに伴い、利用者が増加した。

問 (公立学校施設災害復旧工事費) 大雨で被災した学校施設の復旧工事の見通しは。

答 柴平小学校と花輪中学校の法面復旧工事は、どちらも約4か月の工期を予定しており、雪解け後の来年度早々に、速やかに着手したい。

[4陳情第11号] 学校部活動の地域移行に関する陳情

「地域の実情に合わせた上で判断するため相当の時間を必要とすることから継続審査すべきである」との意見と、「教職員の負担軽減の観点からも採択とすべきである」との意見が出され、採決の結果「継続審査」すべきものと決定した。